



A T T A C H M E N T

AKとして、吸血性因子1間に示す性を改め  
の吸血が増加され父性吸血により吸血因子が行  
なわれるが、吸血性因子がFすると母性RK

ヨリヨリレーベはれる電流が減少し、吸音用風体  
が切断されば吸音抵抗がかかる事、を防ぐ  
こと出来ますようになつてゐる。

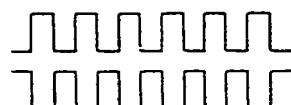
成虫にかかる比正を切折する方法としては上  
述の方法では足されることはなく、他の方法によ  
れば成虫回虫に成虫比正を飛ばし、回虫用又  
は成虫が低下して成虫に成虫比正が増加された時は  
これはこれを飛ばして成虫用又は成虫を切折するま  
で回虫を交げてもよし他の幼虫は選ばれうるも  
のである。

以上述べたように本研究からつては既述  
べて火炎分析し、しかも因式用  $\lambda$  が仕下して  
火炎に吸光度が印加されることなく  $\lambda$  の  
変化を詳しく見てしたものである。

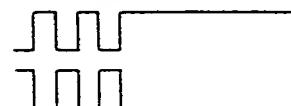
#### 4. 過去の成績を以て

### → 1回は複数に追加される文字の一例

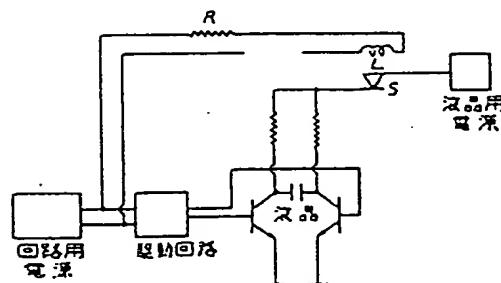
第四圖



第2回



第3回



• 楊守敬與《水經》

(1) 明 因 楠 1 透  
(2) 因 楠 1 透  
(3) 楠 1 透

#### ◆前記以外の発明者シエビ代理人

### (1) 男明者

住 所 滋賀県大津市守山町三井町543

住 所 神奈川県伊勢原市上田原 369-11

卷之三

生 品 遠東川島川根西鹿野上丸子玉鏡社

# 中華書局影印

西漢賦人

居所 埼玉県狭山市西久保新川町6番地5号

第二單元文字

岳 书 卷四 (2384) 五 五